

# ドクターからの 健康アドバイス

- ※本ページの内容は当院の医療専門職が監修・執筆しています。
- ※内容は一般的な健康情報であり、診断・治療を目的としたものではありません。
- ※本ページには医師以外の医療専門職による記事も含まれます。

## 小児外科の病気について



腹痛をきたす疾患は、急性胃腸炎や便秘などの軽症疾患が多くを占める一方で、外科的治療が必要な症例が含まれています。子どもの病気のなかでも訴えの多い腹痛について、小児外科の医師に聞いてみました。

### 教えて！前川昌平先生

2022年4月1日より愛染橋病院 小児外科 副部長に着任いたしました前川昌平です。

**患者ファースト**をモットーにしています。

一般小児外科から救急外傷まで幅広く診療し、  
お子さまの健康に貢献してまいります！



小児外科・外科 副部長  
前川 昌平 医師

### Q1. 子どもの腹痛の特徴は？

年齢によってかかりやすい病気が異なり、一般的には病状の進行が早いのが特徴です。また、症状を自ら話せなかったり、年齢によって痛みの訴え方が違い、軽症なのか重症なのかの判断が難しくなります。なかには消化管(食べ物の通りみち)以外の疾患でも腹痛を訴えることがあります。

日ごろから子どもの状態、平熱、顔色など、よく観察しておくことが大切です。

「いつもと違う」という親の直感が、重大な病気を発見するきっかけになることもしばしばあります。



よくみられる疾患	緊急性の高い疾患
便秘	腸重積症
機能的腹痛	腸径ヘルニア嵌頓
気管支喘息 (呼吸苦に伴うもの)	精巣・卵巣捻転
急性胃腸炎	腸閉塞
心因性	急性虫垂炎
	外傷による腹腔内出血

ひどい咳やゼイゼイとした呼吸をしていないか、  
腸径部(ふとももの付け根)や陰部(陰茎や陰囊)に異常がないかなど、**お腹以外も注意深く観察することが大切です。**

## Q2. 腹痛を起こす代表的な疾患について教えてください。

### 便秘

子どもの腹痛の原因で最も多いのが便秘です。  
1週間に2回以下しかうんちが出ない場合は便秘症である可能性があります。そのほかの症状としては、うんちを出すのに時間がかかる、うんちをしたときにお尻を痛がる、などの時はうんちがとても硬く、場合によっては肛門に傷がついている(裂肛：れっこう)可能性があります。  
腹痛を訴えるときにはお腹が張ったり、下腹を触ると身体の表面から硬い便を触れることもあります。

### 急性胃腸炎

2番目に多いのが急性胃腸炎、いわゆるお腹の風邪です。急性胃腸炎は冬から春にかけて流行するノロウイルスやロタウイルスによるウイルス性胃腸炎、夏に流行るカンピロバクター、サルモネラ、病原性大腸菌などによる細菌性胃腸炎があります。  
新型コロナウイルス感染症に感染した場合にも胃腸炎の症状が出る場合があります。

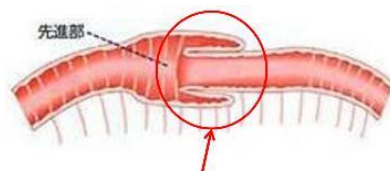
### 急性虫垂炎

子どもの救急外科疾患の中で最も多く、年齢的には5歳以上、特に小学校高学年～高校生に多い病気です。症状のはじめはみぞおちあたりが痛く、時間がたつにつれて痛みの位置が右下に移動していきます。痛みの位置と持続的な痛みが特徴です。



### 腸重積症 (ちょうじゅうせきしょう)

生後6ヶ月～2歳ごろまでの子どもに発症しやすく、進行すると腸の壊死を起こしてしまう重篤な病気です。典型的には、間欠的腹痛(周期的に激しい痛みが出たり良くなったりを繰り返す)、嘔吐、時間が経つとイチゴジャム状と言われる血便が見られたりします。  
しかしながらまだ痛みをうまく訴えることができない場合には、ただお腹が張っているだけに見えることもあります。(図1)



はまり込んだこの部分を中心に、血流障害を起こす。

### 腸重積症

(図1)

#### ☆病因と病態

腸管がすぐ肛門側の腸管に引き込まれる結果、腸管閉塞をきたし、さらに腸管の血流障害を伴う。

普段と違う泣き方や  
機嫌の悪さ、  
ぐったりした感じに注意!

### 卵巣捻転 (らんそうねんてん)

何らかの原因で卵巣がねじれてしまう疾患で、新生児期や学童期に多く、幼児期には比較的少ないです。1～20歳の女性10万人あたり4.9人と推定されるように時々みられます。突然の強い下腹部の痛み、悪心や嘔吐の症状が出現します。手術が必要ですので早急の受診が必要です。